



異年齢でのプロジェクト学習

学齢の異なる子どもたちが協働し、
自ら設定した課題に主体的に取り組む

福岡県・私立北九州子どもの村小学校・中学校



どんな学び？

1 授業の内容は？

「プロジェクト」は、本校の核となる教育活動です。小学校では週約14時間、中学校では週約11時間がプロジェクトの時間です。異年齢の児童・生徒でグループを構成し、活動内容はみんなで話し合いを重ねて決定します。

2 育成を目指す資質・能力は？

知識や技術を駆使して、具体的な課題に取り組む経験を積む中で、知的探究の力と態度、自己肯定感、社会性を育みます。

3 なぜ、この学びが必要？

子ども同士で話し合い、協働する中で、深い学びを経験し、感情的にも知的にも社会的にも自由な子どもを育てるためです。

写真上／中学生の社会問題研究。教室に教師がいなくても、自ら設定した課題に熱心に取り組む生徒たち。
写真下／小学校の劇づくりのプロジェクトでは、1年生から6年生が車座になって、演目決定から話し合う。

図 中学3年生のある週の時間割

	月	火	水	木	金
1限	自由 選択	社会	英語	プロジェクト	自由選択
2限			数学		
3限	自由 選択	英語	個別学習	プロジェクト	数学
4限			プロジェクト		
5限	理科	個別学習 全校ミーティング	プロジェクト	プロジェクト	国語
6限			個別学習		個別学習
7限	国語		プロジェクト	プロジェクト	

中学生は、プロジェクトと特別活動が異年齢のクラスで行われ、小学生は、教科学習を含むすべての教育活動が、異年齢のクラスで行われる。



写真/20年度の小学校の建築・木工のプロジェクトで製作したツリーハウス。設計・施工は小学生。製作の過程での体験を通じて、長さや面積などの知識を身につける。

子ども主体の活動が 時間割の大半を占める

本校では、多くの教育活動が、異年齢の児童・生徒で構成されるクラスで行われています。時間割の大半を占めるのは、子ども主体の活動であるプロジェクトです(図)。2021年度は、小学校では劇づくり、建築・木工、農業・料理の3プロジェクト、中学校では劇づくり、地域研究、社会問題研究の3プロジェクトに分か

れて活動しています(写真)。

子どもたちは4月に、興味のあるプロジェクトを1つ選んで、その年のクラスを自分で決めます。どのプロジェクトも、具体的な活動内容は、話し合いを通して決めていきます。中学校の劇づくりであれば、どんな劇を、いつ、どのような工程でつくるのか、地域研究であれば、地域のどんなテーマについて研究するのかを、子どもたち自身で考えます。話し合いの進行や、プロジェクトでの役割分担なども、自分たちで行い、大人はあくまでサポート役です。プロジェクトに丸一日が充てられる日もありますが、大人の指示を待つこ

となく、みんなで協力してそれぞれの活動に取り組み、うまく分担して作業を進めています。

日々の学校生活の中でも 話し合い、自分たちで決める

中学生の社会問題研究のプロジェクトは、学校で出るゴミの量を減らすというテーマで活動を始めましたが、話し合う中で、環境先進国であるドイツ在住の方にオンラインで取材することにしたそうです。

中学生が、プロジェクトの活動を深められるのは、小学生の頃から、



北九州子どもの村中学校
校長
高木 秀実
たがき ひでみ

教職歴35年。公立の小・中学校に、数学科の教師として9年間勤務。同校に赴任して16年目。

学校概要

- ◎学校法人きのくに子どもの村学園が和歌山県に「きのくに子どもの村小学校・中学校」を開校。その後、福井県、山梨県、福岡県、長崎県に小・中学校を設置。自己決定・個性化・体験学習の3つを教育の原則として、「自由な子ども」を育てるための教育活動を展開する。
- ◎学校法人設立 1992(平成4)年
- ◎生徒数 各学年定員12人(北九州子どもの村小学校・中学校)

学校の様々な事柄について話し合ってきたからです。本校では、運動会も、開催するかどうか、開催するのならばどのような種目を行い、どんな役割分担で運営するのかを、みんなで話し合います。話し合うことでよりよい考えが生まれること、そして話し合って決めれば、みんなが納得して取り組めることを、体験から学んでいるのです。

プロジェクトを進める力は、プロジェクトだけで養えるものではありません。自分の思いを大切に、しかし、年齢や立場にとらわれずに互いを尊重しながら、学校を自分たちで楽しい場所にしていく中で育まれる力だと思えます。

VIEWn-expressでは、
「ウェブで見学 学びのnext」で、
主体的にプロジェクトを進める力を
子どもたちに育む学校生活の
詳細を紹介！(2月28日公開予定)

VIEW n-express

検索



お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

学年団

担任